

平成30年度 第2回学校運営協議会

## 平成30年度 野崎高等学校第2回学校運営協議会議事録

日時：平成30年11月30日（金）

15:20～17:00

於：本校会議室

司会：教 頭

進行：会 長

記録：担当教諭

### 【次第】

1. 校長挨拶
2. 事務局より
  - ア、資料について
  - イ、本年度の取り組みについて
  - ウ、第1回授業アンケート分析
  - エ、広報活動・地域連携について
  - オ、各分掌より（教務部・生徒指導部・進路指導部・人権教育推進委員会・いじめ対策委員会）
3. 協議・意見交換
4. 会長より
5. 事務局より

---

### 1. 校長挨拶

- ・生徒と教員の異動などについての報告
- ・トイレ工事無事終了、11月からはブロック塀の改修工事が始まり2月末までには終了予定
- ・11月までの転退学者数を昨年度と比較すると半数以上減
- ・本校のスクールカウンセラーを後程紹介

## 2. 事務局より

### ア、司会より

- ・資料確認

### イ、本年度の取り組みについて：校長

#### ①職員実働防災訓練について

- ・本年度は、地震や台風などがあったこともあり、地震発生シナリオ想定で訓練を行った。
- ・その様子をビデオに撮影し、役割ごとにグループで検証を行った。

#### ②教員の働き方改革について

- ・教員時間外労働時間は昨年度より8時間ほど減っている。
- ・80時間を超えて産業医との面談対象者も大きく減少し、働き方改革は進んでいる。

#### ③学習指導要領の改革について

- ・指導要領の改訂は4年後であるが、次年度から総合的な学習の時間が、総合的な探求の時間に変更されるのに対して、内容の再構築に向けて首席を中心としたチームで素案を作っている。
- ・10年目研修教員のアクティブラーニングの取組みとして、生徒たちで試験問題を作るというグループ活動を行い、職員会議で結果を報告し授業の組み立てなどを共有した。

#### ④支援教育について

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、日本語支援の必要な生徒に対する学習支援は、年度当初から計画的に実施している。また、学習障がいの可能性が認められる生徒に対しては、専門機関との連携をとり、進級・卒業に向けての支援を行っている。

#### ⑤平成31年度志願者数について

- ・事前の希望調査の結果、現在のところ本校の志願者は昨年度より少ない結果が出ている。

### ウ、第1回授業アンケート結果分析：教頭

アンケートの数値は、学校全体として比較的よい結果が出ている。ただ、今回は数値の上がり下がりだけではなく、生徒の満足度を測るうえで70%以上の数値が出ている場合は、生徒が「満足してい

る」と仮定して検証した。

「履修の形態」では、教科内選択・選択科目・コース必修で、「講座の形態」では、少人数・習熟度別・TTで、「授業の形態」では、実技形式で、「学年別」では、1学年・2学年で、「教科別」では、体育実技・英語科・芸術で「満足している」70%以上の数値が出ている。

「学年別」での特徴として、前年度に引き続き42期生が2年次でも前年度（1年次）より高い数値で「満足している」70%以上が出ている。1年生の43期生でも満足している結果が出ている。

「教科別」の特徴としては、英語科が28年度から毎年数値を上げている。Can-Doリストを活用し英語教育の4技能を意識した授業展開と、観点別評価につながる授業を行っていることが結果となって現れている。また、習熟度展開をしている英語の全科目で「満足している」結果となった。

エ、広報活動・地域連携について：首席

- ・ホームページ・ブログ

ブログを頻繁に更新することで常に新しい情報を発信している。1週間に2～3回、多い時（行事の時など）は毎日更新している。

- ・学校説明会の参加

夏・秋と中学生向けの各種学校説明会に参加した。中学生の希望調査の結果のとおり、例年よりは中学生の参加は少なかった。1・2月の学校説明会でもアピールしていく。

- ・地域連携

明日、大東市のスマイルミネーションにダンス部が出演する。12月8日には大東キャンドルナイトがあり、全学年の生徒がキャンドルを作成し、当日はボランティアとして生徒会執行部の生徒が参加する。その他、大阪スマホサミットにも参加するなど、生徒が様々な行事に参加し、地域連携を深めている。

- ・チャレンジ野崎（学校体験入学11月17日）※当日の写真をスライドショーで紹介

受付は、部員や一般生徒から「生徒サポーター」として参加してくれた生徒が行なった。

今年の特徴として、説明会後の体験授業で国語・数学・社会・英語等の座学の希望者が例年より多かった。家庭科はいつも1番人気で、音楽では本校生が中学生に教えていたり、体育のスポ

ンジテニスでは、テニス部の生徒が中学生のサポートをしてくれた。化学も毎年実験に工夫を凝らし人気がある。最後は校内と部活の見学をして終了した。

参加者は例年より少なかったが、アンケート結果から参加した生徒の満足度は高かった。参加のきっかけについては、「ホームページを見て」が18%と昨年より高くなり、申込み方法については、Web申込みが倍増した。ホームページ・ブログの更新は重要である。

#### ・ブログ紹介

頻繁に更新しているので、また見ていただきたい。※ブログ記事を一部紹介

オ、各分掌より

教務部：教務部長

来年度の教科書一覧の紹介をし、採択されました。

生徒指導部：生徒指導部長

11月末に、三重県の生徒指導協議会メンバー7名が学校視察に来られ、本校の指導方法の変遷や制度改編、近年の取組みなどについて説明し、相互の情報共有を行った。

#### ①生徒会活動・部活動の充実

成功体験の少ない生徒に、自信をつけて卒業してもらうために、生徒主体の活動を行っている。

地域清掃野崎レボリューションには参加人数が年々増えており、挨拶運動はキャプテン会議を通じて、部活動生徒中心で行っている。リーダー研修は大阪産業大学の施設を利用させていただき実施し、自ら考え行動することの大切さを学び、リーダーとして学校行事を引っ張っていける生徒の育成をめざしている。学校外での体験により新鮮な気持ちになり取組み効果も出てきている。文化祭では演劇団体が5団体と増え、舞台だけでなく教室の装飾等も生徒がよく頑張ってきたきれいに作られていた。

#### ②生徒指導案件の迅速対応

ネットトラブル、SNSトラブルが増えている。保護者には、合格者登校において重点的に説明した。また、授業を一番大事にしていることも伝えている。おかげで授業遅刻にかかる生徒は減っている。

### ③規範意識の向上

今後の課題としては、スカートの丈、化粧のルールなどを整備する必要がある。キャリアガイダンスや講演等、行事の時にはルールを守る状況は作れている。

スマホサミットには、生徒会の生徒を中心に参加した。スマホの使い方など、学んできたことを学校に還元出来るようにしたい。

### ④遅刻数の減少

昨年度の同時期比較で2・3年生ともに減少している。今年は1年生で進路変更をする生徒が少なく、母数が多い中で全学年がんばっている。2限目以降の遅刻が減っているので学校にきちんと行くという意識が高まっているように思われる。

#### 進路指導部：進路指導部長

今年度の就職1次の内定率は、この3年間の中で一番低い値となった。売り手市場の中、生徒たちは多くの求人企業から、自分の興味や保護者の意向に合った企業を選び出すことに大変苦しんでいた。就職希望者ほぼ全員が応募前職場見学に参加したが、1社を選びきれない生徒が複数名出てきた。

今年度の就職希望者はチャレンジする生徒が多く、1次の試験に落ちた生徒も少なくなかったが、一方で、この数年にはない難易度の高い企業から内定をいただく生徒も複数いた。就職2次現在、内定者も増加しているので、例年と同様、学校紹介就職希望者の内定率100%は維持できるであろう。

進学希望者の多くは、指定校推薦入試を利用するものと、AO入試制度を利用するものに分かれ、そのほとんどが合格をいただいている。

2020年度のオリンピックの影響もあり、求人数が今も増加傾向だが、オリンピック以後は求人数が減少し、日本の景気下降が予想されている。進学もセンター試験にかわり、新たな形式による試験が決まっているなど、非常に激しい変化が予想される。これらの変化に対応するためにも、教員がまずしっかり学びを継続し、地域企業や大学等の上級学校と連携していくことが必要である。

早期に進路を選択していく力を育成するため、体験型の進路行事を1年生で取り入れ（2・3年生で今までは行っていた）1月に実施する。生徒の自尊感情を高めるために、「どうせ〇〇」という発言をなくしていく支援を継続していく。

## スクールカウンセラー紹介

植田和子先生。平成18年度から月1回のペースで本校に来ていただいている。スクールカウンセラーの事業は、20年くらい前から行われており、生徒や保護者の話を聞き、カウンセリングの後に保健室の先生や担任と話し合いをすることで、いろいろな方向から支援ができるようになってきた。

## 人権推進委員会：(代理：首席)

シドニーパラリンピック車いすバスケットボールでキャプテンを務められた、根木慎志さんに今年度も来ていただき、デモンストレーションや車いす体験を通してパラスポーツの楽しさや、障がい者問題だけでなく、困難を乗り越えることや友人を応援することの大切さについて話をしていただいた。

在日コリアンのちゃんへん。さんのジャグリングなどの大道芸パフォーマンスと講演を1,2年生対象に行った。中学生で聞いたことのある生徒もいるが、感想の中には、「中学生の時よりもわかった」等あり、深く理解した生徒も多いようである。

## いじめ対策委員会：教頭

野崎高校のいじめ防止基本方針を、H26年度作り上げたものから刷新した。

いじめの定義に、「インターネットを通じて」という部分を新たに強調した。生徒が心理的苦痛を感じたら、いじめとして認定すべき事象であることを再確認した。

本校では、いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりや早期発見のために、年間3回のアンケートと保護者懇談等で生徒への確認と呼びかけをしていること、校内職員研修の実施(今年度は、緑風冠高校と合同の人権研修で、佛教大学 原先生による講演を行った)などを明記した。また、学校教育自己診断において、いじめの項目を独立させてアンケートを行っている。

加えて、スクールカウンセリングにより得られた情報や、SC・SSWとの連携の重要性について。また、いじめ解消の定義として、いじめに関わる行為が3か月以上起きていないことや、被害生徒が心身の苦痛を感じていないことが確認できなければ、解消したとは認められないこと、いじめが解消に至ったとしても、常に再発することを念頭に置いて継続して見守ることを追記・再確認した。

### 3. 協議・意見交換

委員：課題を抱えている生徒がお世話になっている。その都度、連絡を取らせていただいている。

容姿についてからかう事象などの場合、高校ではどのように対応するのか？

生指部長：最新のいじめの定義に合わせて、言葉の暴力行為であると考え、保護者との連絡を密にとって、被害者を最優先にして対応しなければならないと思う。本校においても、被害生徒が学校に来にくくなった事象があり、いじめ対策委員会でいじめとして認定（暴力などではなく）し、被害生徒にはこのままにはしておかないことを伝え、クラスの生徒達には、学年主任・担任から、クラスメイトのこういう事態を放っておいていいのか？という話でクラス指導を行った。加害生徒については必要な指導を行い、その後、長期間の経過観察指導を行っている。

委員：スクールカウンセラーは教職員の経験者だと思うが、どういう人がなっていますか？

校長：資格は「臨床心理士」または「公認心理士」を持っている人が募集されています。

会長：防災訓練の件で、生徒が1日帰れないとかになった場合、備蓄はどうなっていますか？

PTA会費でまかなうのかなと思いますが、卒業するときに入れ替えるとか、そういうことは行われているか？

校長：現段階で、備蓄食料は野崎高校にはありません。大阪府から、教職員の3日分の水、 $\alpha$ 米、簡易トイレ、ポリタンクと、生徒1日に分の水、 $\alpha$ 米、簡易トイレが配備されることが決定している。ただし順番があって、野崎高校は2020年度になります。

大阪府からは、簡易トイレとポリタンクは予算が付くが、口に入るものは私費会計（PTA会費等）で、ということになっています。

委員：順番って待っておかなくてはならないものなのではないでしょうか？

事務長：それは今後相談の上で検討されます。置き場所のこともありますので。

校長：PTA会費のことでもあるので、また相談させてもらえたらと思います。

委員：自分の子供のことなので、PTA会費での支出は大丈夫だと思います。

委員：防災訓練アルファ米の賞味期限まじかな物の配給がありますが、申し込まれてはどうですか？

校長：輸送費等もあるので、すぐには、というわけには難しいです。

事務長：(お金のことなどもあるので) PTA のほうから言ってもらえると助かります。

会長：避難誘導をどうしたらいいのかなど、わかりやすいように校内に貼っておくほうが良い。

委員：アクティブラーニングで、生徒が試験問題をつくる、というのは非常にいい試みだと思う。

先生の立場になることによって、ポイントがわかるのではないかと思う。

入試改革としては、部活加入率を上げていく必要があると思う。清掃活動などが、ポートフォリオとかに活用もできると思えるので面白いと思います。

ブログに力を入れるのはすごく評価される。中学生に対して、上手にこういう機器を活用するべきだと思います。

身障者や、在日の方を講師にきてもらうのがすごくよいです。生徒のこころをつかんでやれていてよいと思う。

委員：生活指導で、「中学生が化粧をするために野崎高校を選ぶ」というのは、逆にうりにすることはできないでしょうか？何か(化粧を OK にしてはいけない)決まりがあるのでしょうか？全部自由になったらどうなるのかな？と思います。

野崎高校だからできる、という風にならないか？逆に利用したらどうなるか？ほかにないものが(野崎高校に)あってほしい。中学生に「野崎高校行ってなにをする？」と聞くと、「行ってから考える」という子が多いです。ほかの学校に行く生徒は何をしたい、どうなりたいかを答えられる生徒が多いです。野崎高校もそのようになってほしいと思います。多目的トイレ、性の問題のこともあるので、必要かなと思います。

生指部長：生徒にとっては(化粧できることが)大人気であるのはわかっているが、何事にも限度が必要でそのバランスが難しい。中高連絡会で中学校の先生からは、ほかの理由で高校を選んでほしい、進路指導がしにくい、という意見ももらっており、志願者が減少する中で中学の先生の推薦がいただけないのは問題である。

会長：野崎高校はいろんなところでがんばっている。授業評価、遅刻、など。それをどう結び付けるか。野崎高校独自のパンフレットか？と言われるとどこの学校か、わからない。引き続いて頑張っていたきたいなと思っています。